

## 平成 27 年度 広島大学医学部 FD

### 「新たな卒業 OSCE に対応した臨床実習のあり方」

背景： 医師国家試験への技能試験導入はかなり以前から議論されていましたが、近年その動きが加速しています。医師国家試験のあり方を事実上決める機関である医道審議会医師国家試験改善検討部会の平成 27 年度報告では、「医師国家試験への技能試験（OSCE）導入については、まず共用試験実施評価機構による臨床実習終了時 OSCE を全大学で行い、その達成状況をみながら検討する」と報告されました。これを受けて、平成 32 年度から、共用試験実施評価機構による全国統一の卒業 OSCE（臨床実習終了時 OSCE）が開始されることが予定されています。

広島大学ではこれまで、共用試験 OSCE と同形式のステーション別手技試験として卒業 OSCE を行ってきました。しかし、全国統一の臨床実習終了時 OSCE が開始されるのに備えて、診療遂行能力を総合的にみる試験（Clinical Performance Examination : CPX）形式を早期に導入しておくことが望ましいと判断し、来年度から実施することが決まりました。

目的： 臨床実習終了時 OSCE は臨床実習の成果を評価・確認することを目的としており、診療参加型実習で身につけた総合的な診療技能を測定する試験として行うとされています。したがって各大学には、この試験に合格できるような診療技能を、臨床実習を通して学生に教育することが求められます。今回の FD では、予定されている臨床実習終了時 OSCE の試験形式についての説明を前半で行い、後半では、試験の形式や内容を踏まえたうえで、臨床実習でどのような教育を行ったらよいかについて、参加者で討論を行い、共に考えることを目的とします。

対象： 医学部医学科で臨床実習を担当するすべての診療科の教員および関係者

日時・場所： 平成 28 年 1 月 21 日（木）18：00～（約 1 時間）

臨床講義棟 1 F 第 5 講義室（下図参照）

